

新型コロナウイルス感染症を経た新たなパンデミックへの備え

令和5年度実施内容

1 高齢者施設向け感染対策研修会(7/13)

- ・コロナ発生時に職員が適切に対応し拡大防止を図るため開催
- ・講師:感染管理認定看護師
- ・参加:高齢者入所施設等職員 42機関60名

2 関係機関連携会議(9/27)

- ・コロナ対応を振り返り一層の連携を図るため意見交換を実施
- ・助言者:感染管理認定看護師
- ・出席:管内7病院看護部長・5市町感染症担当者

3 高齢者施設等のクラスター対策

- ・陽性者が確認された施設から報告を受け、延90※施設へ感染対策を助言
 - ・感染管理認定看護師を延6※施設に派遣し実地アドバイス
- ※2月末日現在

4 急性呼吸器感染症病原体サーベイランス

- ・病原体定点医療機関が保健所へ検体を提出し、県衛生研究所で県全体の流行状況を解析

5 健康危機対処計画策定

- ・平時から健康危機への準備を計画的に進め、県予防計画の実効性を担保するため保健所ごとの健康危機対処計画を1月末策定

主な成果

○感染管理認定看護師による研修会や実地アドバイスを通して管内高齢者施設における感染対策の向上を図ることができた。

○連携会議では、長期に渡ったコロナ対応を報告し経験や苦労を共有するとともに、今後に向けての課題を抽出し意見交換することで、連携強化を図ることができた。

令和6年度案

上記1～4を継続、5健康危機管理対処計画に基づく訓練を実施し、新たなパンデミックへの備えを強化する。